

連載05 音楽の旅は続く

ジャズボーカリスト
星乃けい

怖くて嬉しくて、そしてエネルギーを貰う感覚。

2月といえばバレンタインデー! Jazz歌手Carmen McRaeの唄うMy Funny Valentineが1番好きです!でも私が高校生の頃はバレンタインデーなんて、そんなに大騒ぎしなかったなあ。

さて校則の厳しい高校に通っていた私は「学校をお休みして、ポップコン本選会に出ます!」なんてことは、あり得なかった。今の高校生にはまったく理解できないくらい不自由だったのです。私の動向を嗅ぎつけた学校では職員会議が何度も行われ、両親は何度もお詫びに行きました。このことで両親に叱られたことはなかったけれど、キチンと卒業する事だけは約束しました。当時の担任の先生は頭脳明晰で个性的な女性、少し取っつきにくい雰囲気もありましたが、大好きな先生でした。ある日、職員会議の間に廊下で待たされた時がありました。職員室から出てきた先生は泣きはらした顔で私にこう聞きました。「あなた、大学へ推薦入学で進学したいの?」と。私の答えはNOでした。それを聞いた先生は続けて「だったらポップコン本選会に行きなさい」と。

嬉しい一言でした。先生がどれほど学校を説得してくれたのか、子供の私にもはっきりとわかりました。信じられる人と出会えて嬉しかったです。この言葉に押されて本選会に行く決心をしました。ただ、ポップコンに出る事と学校を休む事のダブル校則違反では退学もやむなしです。卒業を約束した両親の顔が浮かびます。どうにか学校を休まずに行けないか考えました。学校が終わったら飛行機に飛び乗り、リハーサルも無しでぶっつけ本番という無理をヤマハにお願いしました。メチャクチャだけど押し通しちゃった。

そして静岡県「つま恋本選会」本番当日では、ひえ〜(泣)フルオーケストラのイントロが始まった〜!センターまで行かなきゃ!物凄い数のお客さん!凄まじい緊張で自分の歌の記憶があまりないのですが、ステージからの光景は今でも目に焼き付いています。審査員がいっぱい居るし、あんなにたくさんの方が私の唄を聴いてくれている!何だろう、この怖くて嬉しくて、そしてエネルギーを貰う感覚。ライブやコンサートの活動をされている方には、



Kei Hoshino

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される

こんな感覚を分かって貰えるんじゃないかな。この瞬間から、私はもう、ここから引き返す人生なんて考えられなかった。ひとりじゃ何も出来ないんだけど、作曲の木戸さん、ヤマハのスタッフ、頭を下げてくれた両親、背中を押してくれた先生、私はいつだって誰かに助けて貰ってここに居る…今もそう思っています。

【編集室調べ】ヤマハポピュラーソングコンテストは、ヤマハ音楽振興会の主催で1969年から1986年まで行われたフォーク、ポップス、ロックの音楽コンテストである。略称「ポップコン」(POPCONとも)。後に年2回開かれるようになった。グランプリ優勝者には自動的にレコードデビューが約束され、世界歌謡祭の出場資格を得ることができた。もともと第5回まではプロを対象にしたコンテストで、アマチュア向けのプロへの登龍門として開催されるようになったのは第6回からである。1970年代のニューミュージック全盛期に注目を集めたが、1980年代のバンドブーム、J-POPへの移行とともにこの名称での大会は終了した。(ウィキペディアより)